宮城県大崎保健所栗原支所　感染症発生動向調査情報

令和7年3月13日 発行

1.発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

	疾　病	疫学週 7週 2月10日～2月16日	8週 2月17日～2月23日	9週 2月24日～3月2日	10週 3月3日～3月9日	判断基準(定点当たり) 警報レベル 開始基準値	警報レベル 収束基準値	注意報レベル 基準値
インフルエンザ・新型コロナ	インフルエンザ#	29 9.67	22 7.33	10 3.33	0 —	30	10	10
	新型コロナウイルス感染症#	15 5.00	17 5.67	5 1.67	10 3.33	-	-	-
小児科定点	RSウイルス感染症	0 —	1 0.50	0 —	1 0.50	-	-	-
	咽頭結膜熱	0 —	0 —	0 —	0 —	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0 —	1 0.50	0 —	0 —	8	4	-
	感染性胃腸炎	10 5.00	6 3.00	0 —	0 —	20	12	-
	水痘	0 —	0 —	0 —	0 —	2	1	1
	手足口病	0 —	0 —	0 —	0 —	5	2	-
	伝染性紅斑	0 —	1 0.50	0 —	0 —	2	1	-
	突発性発しん	0 —	1 0.50	0 —	0 —	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0 —	0 —	0 —	0 —	6	2	3
眼科定点	急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
	流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
	無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	川崎病	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-
	不明発疹症	0 —	0 —	0 —	0 —	-	-	-

栗原支所管内定点数：#は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況　(過去2週間における支所対応状況)

◎：複数対応中、○：対応施設あり、ー：対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	○	ー
備考	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	

＊「1.発生動向」の解釈について

・上段は**圏域全体で**一週間に診断した患者数
・下段は**一つの定点(医療機関)**において一週間に診断した患者数
・**下段の定点当たりの数値**を**表右側の判断基準**と照らし合わせて評価してください。

3.栗原支所より

【 全数報告疾病 】

5類：侵襲性肺炎球菌感染症
男性1名

【 定点把握対象疾患 】

- インフルエンザの発生は減少しました。
- 新型コロナウイルス感染症の発生は継続しています。

【 集団発生情報 】

高齢者施設において新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【 感染症コラム～侵襲性肺炎球菌感染症～ 】

- 肺炎球菌によって引き起こされる病気で、この細菌は主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。
- 感染した大半の方は、中耳炎、副鼻腔炎などの非侵襲性感染症を引き起こすに留まりますが、時に小児や高齢者において肺炎球菌が何らかのきっかけで進展し、本来は無菌であるべき脳脊髄液や血液などに入り込むことで、肺炎、髄膜炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあり、このような病態を侵襲性肺炎球菌感染症と呼びます。
- 小児では発熱のみであることが多く、時に肺炎、中耳炎、髄膜炎を合併します。高齢者では肺炎を伴うことが多く、発熱、咳、息切れで発症します。
- ひ臓を摘出していたり、鎌形赤血球症の患者では重症化しやすく致命率が高いです。
- 感染予防として、手指衛生・咳エチケットに加え、予防接種未接種者に対して肺炎球菌ワクチン接種が効果的です。
- 5歳未満の小児と高齢者(①65歳以上の方、②60～64歳で一定の基礎疾患がある方)を対象に、肺炎球菌を予防するワクチンの定期接種があります。

保健所では感染対策に関する出前講座、手洗いチェッカーの貸出を行っています。御希望の施設の方は下記担当あて御連絡下さい。

感染症情報←

性感染症検査←

大崎保健所　栗原支所　疾病対策班
☎0228-22-2117　🖷0228-22-7594
HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html